

経営比較分析表（令和2年度決算）

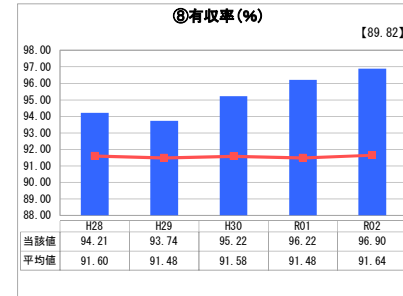
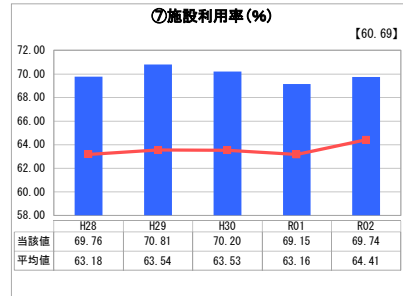
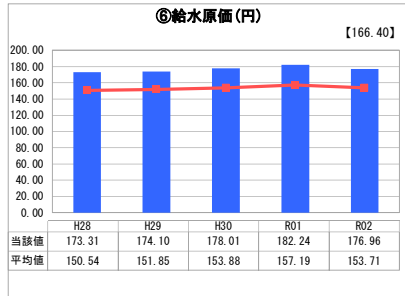
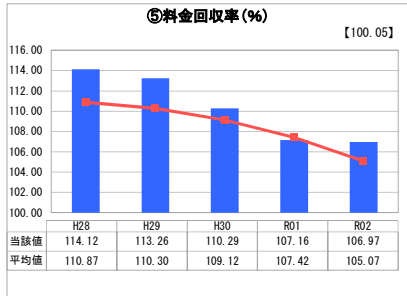
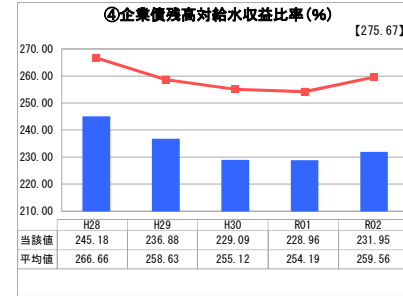
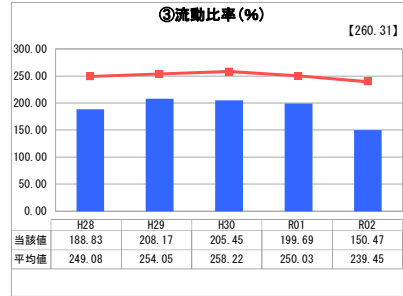
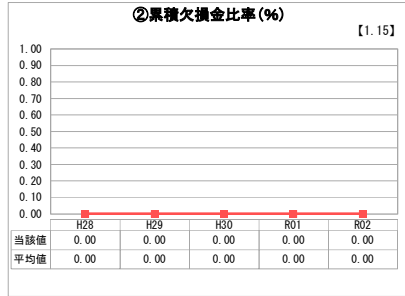
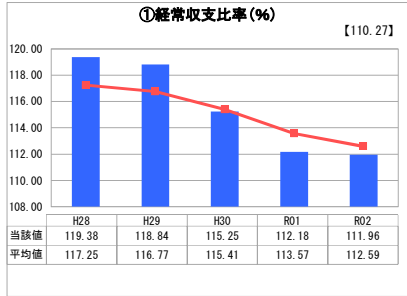
千葉県

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	78.87	84.24	2,690	

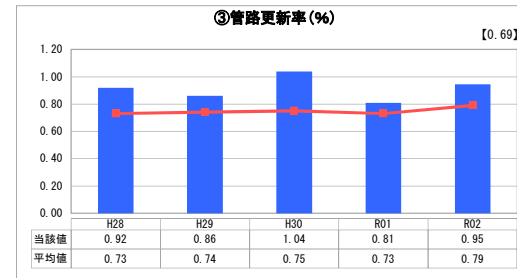
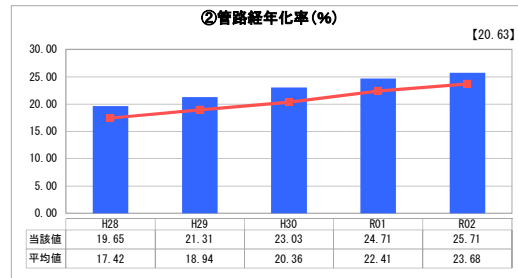
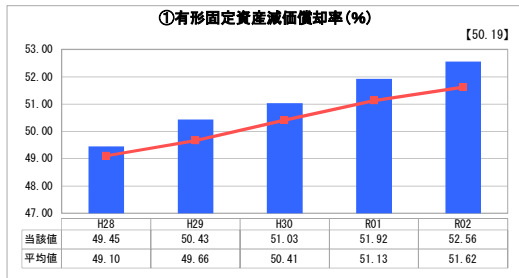
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,322,897	5,157.57	1,225.94
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,062,104	566.37	5,406.54

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、更新工事に伴う減価償却費の増などにより減少傾向ですが、100%以上を維持しています。

「③流動比率」は、建設事業費の増に伴う未払金の増などにより下落しましたが、100%以上を維持しています。

「④企業債残高対給水収益比率」は、建設事業費の増などにより、企業債残高が22年ぶりに増となったため増に転じましたが、類似団体平均値と比較して低い水準を保っています。

「⑤料金回収率」は、100%以上を維持しており、給水収益で給水に係る費用を賄っています。

「⑥給水原価」は、有収水量が増加したため、減少しています。

「⑦施設利用率」及び「⑧有収率」は、類似団体平均値を上回り、施設の効率的な運用を行っています。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」及び「②管路経年化比率」は、類似団体と同様に上昇傾向にあり、施設の老朽化が進行しています。

「③管路更新率」は、類似団体平均値を上回っており、比較的順調に管路更新を進めています。

全体総括

上水道事業については、現時点では比較的堅調な経営状況ですが、将来的には現在給水区域の給水人口が減少に転ずると予想されるなど、給水収益の伸びを見込むことは困難な状況になってきている一方、老朽化した浄・給水場や水道管路の更新・整備に今後、多額の建設事業費が必要となります。そのため、中期経営計画に基づき計画的に事業を推進するとともに、企業債や内部留保資金を活用しながら、健全な経営の維持・確保に努めてまいります。